

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

医薬品（解熱鎮痛剤）の誤飲による急性薬物中毒の疑い（No.67 医薬品の誤飲による中毒の類似事項5）（同）

事例	基本情報	年齢：1歳 9か月 性別：女児 体重：12kg 身長：不明
	家族構成	父、母、同胞(12歳・4歳・2歳)、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		急性薬物中毒の疑い
医療費		入院 179,440円 外来 0円
原因対象	対象名称	アセトアミノフェン
	入手経路 使用状況	母の薬として病院で処方された。PTP (press through pack) 包装を 1錠ずつに切り離した状態で母の化粧ポーチ内に保管していた。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	家族全員
	発生年月日	2025年2月X日(水) 午前8時0分
発生状況	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	母が薬を入れた化粧ポーチを服用のために床に置いた。その後、室内で洗濯物を干していた。父は2歳の姉に食事をさせていた。午前8時0分、本児が床に座り込んでおり、そばに破れたPTPが落ちていることに母が気がついた。確認したところ、アセトアミノフェン(500mg)4錠とムコダイン(250mg)8錠がなくなっていた。本児が口に入れているところを目撃した人はいない。
	医療機関受診時 以降の治療経過 転帰	午前8時30分に医療機関に到着。直ちに胃洗浄を行い、胃管内の排液が透明になるまで施行し、その後活性炭10g・下剤としてモビコール1包を注入して終了した。処置中に1回、嘔吐を認めた。急性中毒標準診療ガイド（監修・日本中毒学会）に記載のある72時間プロトコールに従って、午後1時20分よりアセチルシスティンを投与した。摂取4時間後・12時間後にアセトアミノフェンの血中濃度を採血した。X+2日に血中濃度は5μg/mL未満であると判明し、アセチルシスティンを中止し、退院した。摂取24時間後・72時間後の肝機能・腎機能は正常であった。
キーワード		薬物誤飲、胃洗浄、アセトアミノフェン